

「データカードダス ワンピース ワンピーベリーマッチダブル」 9月17日(木)稼働開始!

～新システム「バウンドショット」「デュアルスキャン」、新カード「キャノンカード」登場!～

株式会社バンダイ
本社:台東区駒形1-4-8
社長:上野和典 資本金:246億円

(株)バンダイは、デジタルデータとカードゲームを融合させたカードエンターテインメントマシン、データカードダス(※P4参照)の新タイトル、「データカードダス ワンピース ワンピーベリーマッチダブル」を、2009年9月17日(木)より順次導入します。設置場所は、全国の玩具店、百貨店・量販店の玩具売場、およびアミューズメント施設です。

「データカードダス ワンピース ワンピーベリーマッチダブル」とは、カードからデータを読み込んで遊ぶことができるデジタルカードゲーム(1プレイ1枚100円、2プレイ2枚200円/税込)です。現在小学生から大人まで幅広い世代に絶大な人気を誇る「From TV animation ONE PIECE(以下ワンピース)」のキャラクターが登場し、筐体画面でアクションバトルを繰り広げるなど、ワンピースの世界観を再現しながら、戦略性が高く、爽快感あるゲーム内容となっています。

本商品は、2008年5月より稼働中の「データカードダス ワンピース ワンピーベリーマッチ」をさらに進化させたもので、「ベリーマッチ島」にバトルの舞台を移し、新システム「バウンドショット」、新カード「キャノンカード」、新キャラクター「トラファルガー・ロー」や「ユースタス・キッド」などが続々参戦するなど、これまで以上に迫力あるバトルが可能になりました。

またカードデザインも大幅にリニューアルしました。縦型のカードフレームデザインを採用し、以前のカードに比べ能力値等が見やすくなっています。また、イラストにはオリジナルで描き起こした“水彩タッチ”を使用し、コレクションアイテムとしてもワンピースの魅力が楽しめます。

メインターゲットは、10歳～12歳の男児に加え、週刊少年ジャンプ等の漫画連載や、テレビアニメの”ワンピース”ファンである20代男女も見込んでいます。



(左上)ロゴ (左下)カード一例 (右)データカードダス筐体

© 尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©BANDAI 2009

※前作の「データカードダス ワンピース ワンピーベリーマッチ」のカードはすべて、「ワンピーベリーマッチダブル」で使用することができます。

■「データカードダス ワンピース ワンピーベリーマッチダブル」とは？

データカードダス「ワンピース ワンピースベリーマッチダブル」は、「パンダマン」にレクチャーしてもらいながらゲームを覚えられる初心者用の「チュートリアルモード」と、海賊王を目指して敵と戦っていく「海賊王モード」、高い懸賞金がかけられた強い海賊に挑戦する「賞金首モード」の3つのモードを搭載しています。また、今回から「パンダマン」が実況を行い、よりバトルに臨場感が加わりました。どれもワンピースの世界観を体感できるストーリー/ゲーム構成で、初心者から、上級者まで幅広く楽しめるモード設定となっています。

■進化した「ワンピース ワンピーベリーマッチダブル」の特徴

新システム「バウンドショット」～ぶっとばしてぶつけまくる壮絶アクション！～

攻撃をするときに、相手がぶっとぶ方向を選択できます。ぶっとんだ先に仲間がいると連携攻撃ができます。また、タルや壁にぶつけるとピンボールのようにはじけ飛びます。赤いタルは爆発、毒ダルはベリーチャーージダウンなど様々なギミックにぶつけ、あらゆる手段で相手にダメージを与えることができます。「バウンドショット」をうまく使いこなし、有利に攻撃することが、勝利への鍵です。



(画像)バウンドショット ゲーム画面例

新カード「キャノンカード」～1度で相手を一網打尽に！～

自分のターンで「キャノンカード」をスキャンすると、各キャノンカードの「こうげき特徴」に合わせて敵に大ダメージを与えることができます。ただし使えるのは1試合につき1回のみとなります。



(左)キャノンカード (右)キャノンカード使用時のゲーム画面

新システム「デュアルスキャン」～2枚同じカードがあると能力アップ！～

同じカードが2枚ある場合、1枚を筐体中央にあるバトルコンパスにおき、もう1枚をスキャンすることで、プレイヤーの能力がアップします。

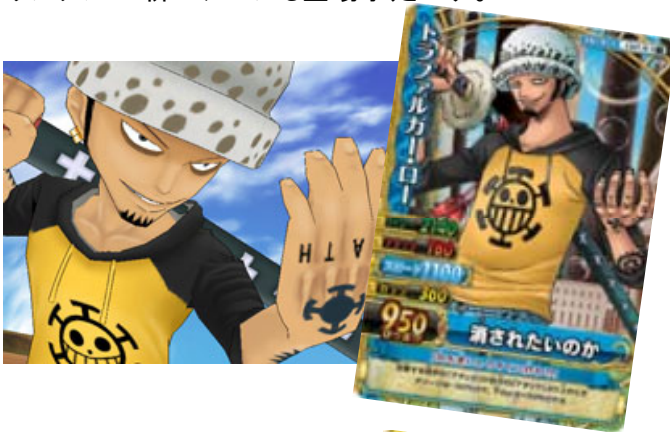


(左)バトルコンパス (中央・右)デュアルスキャンをした際のゲーム画面例

© 尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©BANDAI 2009

新キャラクター、新ステージの登場

海賊王を狙う「超新星」の「トラファルガー・ロー」や「ユースタス・キッド」など新キャラクターが続々登場！オリジナルの新ステージも登場予定です。



▲闘いの舞台となる「ベリーマッチ島」



▲新バトルステージ

(左上)トラファルガー・ロー ゲーム画面/カード画像 (左下)ユースタス・キッド ゲーム画面/カード画像
(右上・右下)新ステージ「ベリーマッチ島」

カードデザインもリニューアル ～見やすい縦型フレームでコレクション性抜群～

今回、カードデザインをリニューアルし、能力値を縦型にし、裏面もより読みやすく進化しました。さらにイラスト自体が大きくなり迫力満点で、キャラクターの魅力を最大限に引き出し、コレクションアイテムとしても楽しめるデザインとなりました。



(画像)ワンピーベリーマッチダブル カード一例

© 尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©BANDAI 2009

＜商品概要＞

データカードダス ワンピース ワンピースベリーマッチ ダブル

- 商 品 名 : データカードダス ワンピース ワンピースベリーマッチダブル
- メーカー希望小売価格 : 1プレイ 100円、2プレイ 200円(税込)
※100円につき必ずカードが1枚もらえます。
- 販 売 ル ー ト : 全国のデータカードダス自動販売機
- 発 売 日 : 2009年9月17日(木)より順次稼働予定
※店舗により稼働タイミングが異なる場合がございます。
- 筐 体 サ イ ズ : 166cm(H)×48cm(W)×66cm(D)
- カ ー ド サ イ ズ : 86mm(H)×59mm(W)
- ゲームプレイ時間 : 約5分
- ゲ ー ム 形 式 : 1Pモード 1人でCPU対戦
2Pモード 2人対戦
(プレイをせずにカードの購入のみも可能)
- カード種類(第1弾) : 46種
- 登 場 キャラクター : モンキー・D・ルフィ、ロロノア・ゾロ、ナミ、ウソップ、サンジ、
トニートニー・チョッパー、ニコ・ロビン、フランキー、ブルック、
ユースタス・キッド、バーソロミュー・くま、トラファルガー・ロー
他多数 今後続々追加予定

※この資料は2009年9月14日時点のものです。

※画面はハメコミ画像です。

※この資料に掲載されている筐体、商品、画面は開発中のものです。

◆「データカードダス」とは？

データカードダスは、デジタルデータとカードゲームを融合させた新型カードエンターテインメントとして2005年3月より、バンダイとグループ会社であるバンダイナムコゲームスの共同事業として展開を開始しました。現在カードダス筐体は量販店やアミューズメント施設を中心に全国で約2万台設置されています。第1作目の「ドラゴンボールZ」以降「NARUTO-ナルト-」、「大怪獣バトル」、「百獣大戦アニマルカイザー」、「プリキュア」シリーズ、「ワンピース」、「仮面ライダー」シリーズなど、現在全7シリーズを展開中で、小学生を中心に好評を博しており、全シリーズの累計販売枚数は約6億1000万枚にのぼります。

「データカードダス」マシンは、デジタルデータ付カードの購入ができる自販機であるとともに、購入したカードのデータを読み込んでデジタルデータと融合した遊びを提供することができるカードマシンです。データカードダス専用のカードにはバーコードが付いており、このバーコードのデータを筐体が読み取り、その情報をもとに、筐体に搭載されたゲームソフトで遊ぶことができます。(2009年8月末現在)

データカードダス「ワンピース ワンピースベリーマッチダブル」ホームページ : <http://www.carddas.com/onepiecew/>

カードダスドットコム ホームページ : <http://www.carddas.com>

バンダイ ホームページ : <http://www.bandai.co.jp>